



愛知県 株式会社平松食品

『各国の規制に対応し、安全・安心なつくだ煮を世界へ』

【主な品目】

魚介のつくだ煮、つくだ煮調味料

【主な輸出先国・地域】

台湾、アメリカ、ベトナム、香港等

【輸出取組の概要】

- ◆ 平成10年頃より台湾へ輸出を開始。その後、アメリカや香港などの展示会、催事活動を通じ販路を拡大。
- ◆ 地域商社を立ち上げ、直接貿易体制を構築。
- ◆ 平成17年にISO22000、平成29年にFSSC22000の認証を取得。また、中国、ベトナムへの水産加工施設登録やEU向け水産加工品取扱施設の認定を得て、新しいエリアへの販路拡大。

つくだ煮の海外向けアレンジ
TERIYAKI-FISH jerky

亜州国際酒店用品及食品博覧会の様子

【輸出実績】

	輸出額(千円)	出荷時期
令和6年度	25,900	通年
令和5年度	14,090	

【取り組む際に生じた課題】

- ・水産加工品は各国の規制が多く、それぞれに対応が必要。
- ・つくだ煮は日本固有の食文化のため、現地の食文化への浸透に課題。

【生じた課題への対応】

- ・認証取得や施設登録を目指す取り組みを実施。地域商社として貿易実務や諸手続きに関して、自社内で実施する仕組みを構築し、直接貿易体制を構築。
- ・愛知の食は個性的で、受け入れられずらいため、シェフやバイヤーを招へいし工場見学や愛知の食文化を紹介するとともに、アメリカ、マカオ、ベトナムを中心に、現地にて、デモンストレーション型商談会の開催や展示会に出展。

【取組の効果】

- ・FSSC22000、EU向け水産加工品取扱施設の認定を取得し、アメリカFDA監査へ対応したことで、欧州バイヤーとの輸出商談が実現。施設登録の結果、ベトナム、中国のバイヤーと商談が成立。
- ・招へいたアメリカや香港のシェフ、ベトナムのバイヤーが各国のインフルエンサーとして育成された。

【今後の展望】

- ・現地の食文化と融合した新製品の開発、販路拡大。
- ・貿易実務を内製化し、それぞれの経済ブロックに優位な条件で展開できるようEPAを活用するとともに、直接貿易体制によるピンポイントの販路開拓。